

内閣府男女共同参画局

「ワーク・ライフ・バランス社会の実現度指標」

ワーク・ライフ・バランス社会の実現度指標とは、わが国の社会全体でみた「ワーク・ライフ・バランスの実現の状況」及び「社会環境の状況」を数量的に把握するものである。

「ワーク・ライフ・バランスの実現の状況」については、「仕事・働き方」、「家庭生活」、「地域活動」、「学習や趣味・娯楽等」、「健康・休養」の5分野ごとにワーク・ライフ・バランスの進捗状況を測るものであり、これにより、行動指針における3本柱の状況も把握できる。

(参考) 数値目標

社会全体として達成することを目指す目標であり、10年後及び中間的な目標値として5年後の数値目標を設定。

行動指針3本柱と「ワーク・ライフ・バランス社会の実現度指標」との関係

	就労による経済的自立が可能な社会	健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会	多様な働き方・生き方が選択できる社会
ワーク・ライフ・バランスの実現の状況	<p>収入面で生活の自立が可能か【仕事・働き方】 例：フリーターの数 等</p> <p>待遇面での公正性は保たれているか【仕事・働き方】 例：平均勤続年数の男女差 等</p>	<p>仕事のための拘束時間が過度に長くなっていないか【仕事・働き方】 例：週労働時間60時間以上の雇 用者の割合 等</p> <p>家庭で過ごす時間や、家事・育児等への関わり方はどうか【家庭生活】 例：男女の平日の在宅時間 等</p> <p>多様な主体を含め希望する人が地域・社会活動に参加できているか。【地域・社会活動】 例：ボランティア活動・社会参加活動の総平均時間 等</p> <p>多様な主体を含め希望する人が学習や趣味娯楽等を行っているか。【学習や趣味娯楽等】 例：学習・研究(学業以外)の総平均時間 等</p> <p>仕事を通じて心身の健康を害することがなく、休養のための時間はあるか【健康・休養】 例：仕事量を理由に強い不安、悩み、ストレスを持つ人の割合 等</p>	<p>多様な主体が希望に応じて働けるか【仕事・働き方】 例：第1子出産後の継続就業率 等</p> <p>希望に応じて柔軟に働き方を選択できているか【仕事・働き方】 例：テレワーカー比率 等</p> <p>待遇面での公正性は保たれているか【仕事・働き方】(再掲) 例：平均勤続年数の男女差 等</p>
社会環境の状況	<p>収入面で自立できる機会が設けられているか 例：正社員への転換制度がある事業所割合 等</p>	<p>勤務先の配慮を得られる機会が設けられているか 例：労働時間等の課題について労使が話し合いの機会を設けている割合 等</p> <p>働きながら様々な活動を行う機会が設けられているか 例：長期休暇制度のある企業数割合 等</p> <p>健康を維持する機会が設けられているか 例：メンタルヘルスケアに取り組んでいる事業所割合 等</p>	<p>働き方を選べる機会が設けられているか 例：育児、介護のための勤務時間短縮等の措置の制度がある事業所の割合 等</p> <p>地域での支援サービス等を得られる機会が設けられているか 例：保育サービスを提供している割合(3歳児未満) 等</p>

(注) 斜体文字は数値目標候補。